

地域日本語教室支援事業 ～大相撲稽古見学～

7月6日、外国にルーツを持つ子ども達とその保護者に日本の文化や職業を知ってもらうことを目的に、大相撲・安治川部屋に所属する力士の稽古見学を愛知学院大学・日進キャンパスで実施した。

本イベントは本会をはじめとする「産官連携による地域日本語教室支援事業」の一環として実施。安治川部屋は「感謝する姿勢」「学び続ける意欲」「社会貢献する心」という三本柱のもと、力士育成に取り組んでおり、本会の地域日本語教室（※）支援活動の趣旨をご理解いただき実現した。同部屋にはウクライナ出身の安青錦(あおにしき)関や、ブラジルにルーツを持つ安強羅(あごうら)さんなどが所属している。

※地域日本語教室とは、地域住民が同じ地域で暮らす外国人住民の生活支援を目的に、草の根の活動として発生・発展してきたもの。子ども向けの地域日本語教室では、日本の学校生活に必要な日本語や学習内容の補完を通じて、外国にルーツを持つ児童・生徒が地域社会に適応できるよう支援を行っている。

